


# 履 歴 書

令和 3 年 5 月 1 日現在

非常勤講師用

フリガナ	タチバナ ハナコ	サインまたは捺印	写真貼付 1. 縦4cm×横3cm 2. 上半身 3. 最近 3 ヶ月以内 に撮影したもの
氏名	橋 花子		
英字	TACHIBANA Hanako		
<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成	50 年 4 月 30 日生 (満 43 歳)	性別 男・ <input checked="" type="checkbox"/> 女	
フリガナ	トウキョウトシナガワクオオサキ	電話(自宅) : 03 - 0000 - 0000	
現住所	〒141-0000	電話(携帯) : 090 - 0000 - 0000	
	東京都品川区大崎〇-〇〇 - 〇 ハイツ立正〇〇〇	E-mail : tachibana@〇〇.ac.jp	

## 1. 学歴

(高等学校卒業より記入)

年 月(和暦)	学 校・学 部・学 科・専 攻 名
平成〇年〇月	東京都立〇〇〇〇高等学校 卒業
平成〇年〇月	〇〇大学〇〇部〇〇科 入学
平成〇年〇月	〇〇大学〇〇部〇〇科 卒業
平成〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修士課程 入学
平成〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修士課程 修了
平成〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻博士後期課程 入学
平成〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻博士後期課程 単位取得満期退学
令和〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻博士後期課程 修了
年 月	

## 2. 学位(学士より記入)

学位名	取得年月日 (和暦)	取得大学・機関	論文題目
学士 (〇〇学)	平成〇年〇月〇日	〇〇大学	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
修士 (〇〇学)	平成〇年〇月〇日	〇〇大学	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
博士 (〇〇学)	令和△年△月△日	〇〇大学	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

### 3. 職歴

就職年月日(和暦)	退職(異動)年月日(和暦)	機 関 名 等	
平成○年 4 月 1 日	平成○年 9 月 30 日	○○大学文学部 助手	専任・非常勤・併任
平成○年 10 月 1 日	平成○年 3 月 31 日	○○大学教育学部 助手	専任・非常勤・併任
平成○年 4 月 1 日	平成○年 3 月 31 日	日本学術振興会特別研究員	専任・非常勤・併任
平成○年 4 月 1 日	平成○年 3 月 31 日	○○○○専門学校○○学科 非常勤講師	専任・非常勤・併任
平成○年 4 月 1 日	平成○年 3 月 31 日	○○大学文学部 非常勤講師	専任・非常勤・併任
平成○年 4 月 1 日	平成○年 3 月 31 日	東京都立○○○総合研究所 主任研究員	専任・非常勤・併任
平成○年 4 月 1 日	平成○年 3 月 31 日	○○○○大学教育学部 非常勤講師	専任・非常勤・併任
平成○年 4 月 1 日	平成○年 3 月 31 日	○○大学文学部 講師	専任・非常勤・併任
平成○年 4 月 1 日	現在に至る	○○○○大学人間科学部 非常勤講師	専任・非常勤・併任
平成○年 ○月○日	平成○年 3 月 31 日	○○大学○○学部 准教授	専任・非常勤・併任
平成○年 ○月○日	現在に至る	○○大学○○学部 教授	専任・非常勤・併任
平成○年 ○月○日	現在に至る	○○大学大学院○○研究科 M◎教授	専任・非常勤・併任
平成○年 ○月○日	現在に至る	○○大学大学院○○研究科 D◎教授	専任・非常勤・併任
現 職		○○大学○○学部 教授	

### 4. 免許・資格

取得年月(和暦)	取 得 免 許 ・ 資 格
平成○年○月○日	高等学校教諭一種免許状(公民) (平成○年高一普第○○○号)
平成○年○月○日	中学校社教諭一種免許状(社会) (平成○年中一普第○○○号)

## 5. 賞罰

年 月 日(和暦)	内 容・機 関 等
平成〇年〇月〇日	平成〇年度日本〇〇学会研究奨励賞

## 6. 学会活動および社会的活動

年 月 ～ 年 月(和暦)	学会・団体の機関名, 役職名等
(学会活動)	
平成〇年 4 月～現在に至る	日本〇〇〇〇学会会員
平成〇年 4 月～平成〇年〇月	日本〇〇〇〇学会会員
平成〇年 4 月～現在に至る	〇〇〇〇会会員 同理事
平成〇年 4 月～現在に至る	日本〇〇〇〇〇学会会員
平成〇年 7 月～現在に至る	〇〇〇〇学会会員 〇〇学会誌『〇〇学研究』編集委員
平成〇年 5 月～現在に至る	〇〇〇〇〇〇研究会会員
平成〇年 2 月～現在に至る	〇〇〇〇〇〇〇学会会員
(社会的活動)	
平成〇年 4 月～現在に至る	〇〇市〇〇審議会委員
平成〇年 4 月～平成〇年〇月	〇〇講座講師

## 7. 研究業績

著書・論文・学会発表等の別	題 名	発行又は発表年月(和暦)	発行所又は発表場所	掲載書・誌名等
< 著書 > (単著)	〇〇〇〇入門	平成〇年〇月	〇〇出版	全 500 ページ
(共著)	第 1 章 総合学習のためのポートフォリオ評価、第 5 章 e ポートフォリオの実践と課題 (〇〇、〇〇著 学習ポートフォリオが促す新しい学び)	平成〇年〇月	〇〇書店	2-35, 254-284
(共同執筆)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇社	全 500 ページ
(共編著)	第 2 章 産業カウンセリングの過程と技法 (〇〇、〇〇、〇〇編著 産業カウンセリング入門)	平成〇年〇月	〇〇書房	61-72
(分担執筆)	理想の学校を実現するには (〇〇〇〇編 「本当の生きる力」を与える教育とは)	平成〇年〇月	〇〇社	233-270

<論文> (单著)	【査読付】小学生の学校での意欲に関する研究	平成○年○月	○○研究会	Journal of ○○○ ○, 16, 5-11
(共著*)	母親面接に教師が同席することの意義	平成○年○月	○○学会	○○学研究, 66, 14-20
(单著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○学会	○○○誌, 87, 2-10
(单著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○○	○○○○○
(共著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○○	○○○○○
(共著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○○	○○○○○
(共著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○○	○○○○○
(单著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○○	○○○○○
(单著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○○	○○○○○
(单著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○○	○○○○○
(单著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○○	○○○○○
(单著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○○	○○○○○
(单著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○○	○○○○○
(单著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○○	○○○○○
(单著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○○	○○○○○
(单著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○○	○○○○○
(共著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○○	○○○○○
(单著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○○	○○○○○
(单著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○○	○○○○○
<翻訳> (单独訳)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○出版	
(共訳)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○社	
<報告書> (共同)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○委員会	1993 年度○○○研究 費報告書
<学会発表> ・ポスター発表 (単独)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○大学	第 55 回○○○学 会
(共同*)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○大学	第 10 回○○○○○ 学会
(単独)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○大学	第 25 回○○○○○ 学会
(単独)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○大学	第 43 回○○○○○学 会
(共同)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	平成○年○月	○○○	○○○

<学会発表> ・口頭発表 (単独)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇大学	第 55 回〇〇〇〇学 会
(単独)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇	〇〇〇
(単独)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇	〇〇〇
(単独)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇	〇〇〇
(単独)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	〇〇〇	〇〇〇
(共同)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月	Boston	IX International Congress of Psychology.
<科研費> (共同)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 基盤(C) 課題番号〇〇〇 配分額 1,000,000 円 代 表〇〇 (〇〇大学)	平成 25 年 4 月～ 平成 27 年 3 月	日本学術振 興会	
(単独)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 若手(B) 課題番号〇〇〇 配分額 1,000,000 円	平成 20 年 4 月～ 平成 24 年 3 月	日本学術振 興会	
外部資金受給実 績	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (20,000,000 円)	平成〇年度	〇〇財団	

※行が足りない場合は追加してください。